

当院が「頼れるドクター 名古屋・尾張・岐阜版」  
に掲載されました。

名古屋・尾張・岐阜

# 頼れるドクター

おかげさまで  
**5**周年

特集1 30~50代の健康をサポート  
働き・子育て世代を  
応援するクリニック

特集2 心づかいや気配りがうれしい  
女性ドクターのいる  
クリニック



“みんなのかかりつけ医事情”大調査  
脱ネット依存「デジタルデトックス」のススメ  
ドクターに聞いた！  
新型コロナウイルス感染対策

2021-2022 版  
私たちの街のドクター

**117**名

使い分けよう！ 病院とクリニック

## 地域の病院紹介

- ・名古屋大学医学部附属病院
- ・第一なるみ病院
- ・名古屋ハートセンター
- ・あいせぼね病院
- ・名古屋掖済会病院 …etc.

気になる医療情報を徹底取材

大腸内視鏡検査、頭痛治療、  
漢方治療、舌下免疫療法、  
顎関節症、インプラント治療

## 検査・治療レポート

Doctors File  
ドクターズファイル 特別編集





1980年、国道の十字路である現在地に開業。地元の岐阜歯科大学(現・朝日大学)の1期生として卒業後、補綴科に残り義歯を専門に研鑽。高齢患者増加に伴い多職種連携や訪問診療に力を入れ、往診では一部業務で息子と協力し合う。また、絵本の執筆を通じて「8020運動」を発展させた「年齢歯数運動」を提唱・発信する。

## 「自分史」の観点を取り入れた診療で 地域のかかりつけ医の使命を果たす

昭和55年の開業以来、この地で診療を続けてきた「三島歯科医院」。長年の診療を通じて、三島隆院長は、独創的な歯科医療の理念を確立した。それは「お口の世界は自分史である」というもの。自分史とは自身の半生、いわば過去の記録を残す取り組みを指す言葉だ。院長はこれに、過去と現在を踏まえて、どんな未来を創造していきたいかを考える、独自の「自分史」観を歯科診療に取り入れたという。

「例えば虫歯になった歯を治療すれば、その痕跡は生涯お口の中に残ります。治療した歯は、元どおりになることはありませんから。お口の中の治療歴は、患者さんの歩んできた生活を映し出す、たった一つの物語なのです。さらに、お口のトラブルは適切なアプローチで未然に防ぐことが期待できる点も、この自分史観に通じます」

診療では、口腔内の現状を踏まえて、今後起こり得ることを患者に伝え、適切な治療を選択してもらうという。その際、院長は「エビデンス」に対比すると言われる「ナラティブ」であることを心がけているという。「物語」を意味するナラティブな発想を大事にし、患者の生活状況や考え方などをくみ



院内の一角にある「ははは文庫」には、院長がこれまで集めてきた歯や口に関するさまざまな書籍が並んでいます。もちろん、院長が執筆された絵本も。ソファのある半個室仕様の造りで、子ども連れでの通院時にはキッズスペースとして活用するそう。「診察を待つ間に、楽しみながら歯や口について知ってもらえたらうれしいです」と院長は笑顔で話されていました。





1 風通しが良く明るい光が差し込む診察室 2 院内にはさまざまな掲示物が飾られている、これは歯のつく漢字だ 3 ゆったりとリラックスできる待合室



4 院長の集めた歯に関する書籍が自由に読めるスペースも

取り、医学的根拠だけでなく「その人にとって」最良といえる治療の選択に心を砕いている。

**加齢に伴う口腔の機能低下を「齢弱」と表現し、普及に尽力 住民の健康寿命延伸をめざす**

予防歯科の重要性や、生涯にわたって自身の歯で食事を楽しめる喜びを、多くの方がふれられるように。そんな思いから、三島院長は約20年前より絵本作家としての活動をスタート。「お口の中に広がる宇宙の広大さ、奥深さを感じてもらいたい」と、これまで3つの作品を上梓した。「読者の皆さん

に、歯を守る大切さを楽しくお伝えし続けていきたいです」と三島院長はほほ笑む。

診療や執筆活動に精力的な三島院長は、地域における医療連携にも力を注ぐ。同院が位置する岐阜市東部エリアで展開される地域包括支援活動において、院長は歯科の代表を務めており、近年はオーラルフレイルの予防に熱心に取り組んでいる。

「一般的にフレイルは「虚弱」と言い換えられますが、私はオリジナルで『齢弱(れいじやく)』と表現しています」と三島院長。フレイルは年齢を重ねるにつれ全身の機能

能が弱まることを指し、院長はフレイルの本質を示したいという思いから「よわい」の読みを持つ、この2つの漢字を提唱。

「フレイルの始まりはお口から、ともいわれています。歯科医師としてオーラルフレイルの予防に努めるのは当然のこと。多職種の方とも力を合わせて知識を深め、患者さんの人生をより良くするお手伝いに力を尽くします」

独自の観点も織り交ぜながら、多彩な手法で歯科医療の重要性、歯科医師の果たすべき役目を発信する院長。優しく強い眼差しに、歯科医師としての矜持を感じた。

### ドクターの著書紹介

**おばあちゃんは8020**  
お口のタイムトラベル2

- ・著者：三島 隆
- ・定価：1980円
- ・出版社：(一財) 口腔保健協会

本作は主人公の女の子が、80歳で歯が20本残っている祖母の口の中をタイムトラベルする物語を描いた作品だ。胎児から80歳まで、歯や口が祖母の人生を支える様子をコミカルに紹介する。また作中では歯科医師をはじめ、歯科衛生士や歯科技工士の仕事内容も取り上げており、「お口の中に関心を向けてもらうのはもちろん、歯科医療の面白さや奥深さにもふれていただけたら」と三島院長。DVD版もある。またこの著書は、『おじいちゃんは8001 お口のタイムトラベル』、『さいごの一歯』とシリーズになっている。現在、これらの集大成となる、「個々が自分史を書き込む絵本」を企画中だという。

DATA



Tel 058-241-2332  
Add 岐阜市岩田東3-365  
Parking 有  
Close 木/日/祝

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	—	●	○	—	—
14:00~19:00	●	○	●	—	●	—	—	—

※土曜は13:00まで、火曜は18:00まで

Map P279 D-1



さらに詳しく

